

レジメンcode:	C15-01
適応がん種:	食道癌
レジメン名:	FP-RT(放射線終了後はFP)
間隔:	5週間(放射線終了後は4週間)

備考

【*1】1コース:5週間

略名	抗がん剤(採用薬品名)	投与量	単位	投与法	投与日
CDDP	シスプラチン(プリプラチン)	40	mg/m ²	点滴(2時間)	d1、8
5-FU	フルオロウラシル(5-FU)	400	mg/m ²	点滴(24時間)	d1~5、8~12
RT		2	Gy	計 60Gy(30Gy×2)	d1~5、8~12、15~19

* stage II ~ III:放射線終了後は、以下【*2】のFP療法を2サイクル追加する。

【*2】1コース:4週間

略名	抗がん剤(採用薬品名)	投与量	単位	投与法	投与日
CDDP	シスプラチン(プリプラチン)	80	mg/m ²	点滴(2時間)	d1
5-FU	フルオロウラシル(5-FU)	800	mg/m ²	点滴(24時間)	d1~5

★尿量確保に注意し、必要に応じてマンニトール及びフロセミド等の利尿剤を投与する。

【*1】

day1、8

1) 生食	20ml	1 A	
			ポート確認
2) 硫酸Mg補正液		1 A	
生食	500ml	1 袋	
	主管①	点滴	2時間
3) 生食	500ml	1 袋	
	主管②	点滴	2時間
4) アロキシ	0.75mg	1 V	
デキサート	3.3mg	1 A	
デキサート	6.6mg	1 V	
生食	50ml	1 本	
	主管③	点滴	15 分
5) シスプラチン(プリプラチン)		40 mg/m ²	
生食	500ml	総液量650ml以下になるように生食を調製	
	主管④	点滴	2時間

次ページあり

6) フルオロウラシル(5-FU)		400 mg/m ²		
生食	1000ml	1 袋		
	主管⑤	点滴	24時間	
7) ソルラクト	1L	1 袋		
	▶側管①	点滴	4時間	主管⑤と同時に

〈所要時間 ー〉

day2~5、9~12

1) デキサート	6.6mg	1 V		
生食	50ml	1 本		
	▶側管①	点滴	15 分	午前中に
2) フルオロウラシル(5-FU)		400 mg/m ²		
生食	1000ml	1 袋		
	主管①	点滴	24時間	前日の主管に続いて

〈所要時間 ー〉

day6、13

1) 生食	50ml	1 本		
				フラッシュ
2) ヘパリンNaロック	10ml	1 筒		
				ルートロック

〈所要時間 ー〉

次ページあり

【*2】

day1

1) 生食	20ml	1 A		
ポート確認				
2) 硫酸Mg補正液		1 A		
生食	500ml	1 袋		
	主管①	点滴	2時間	
3) 生食	500ml	1 袋		
	主管②	点滴	2時間	
4) プロイメンド	150mg	1 V		
生食	100ml	1 本		
	▶側管①	点滴	30 分	主管②開始60分後から
5) グラニセトロン	3mg	1 A		
デキサート	3.3mg	1 A		
デキサート	6.6mg	1 V		
生食	50ml	1 本		
	▶側管②	点滴	15 分	側管①に続いて
6) シスプラチン(フリプラチン)		80 mg/m ²		
生食	500ml	総液量650ml以下になるように生食を調製		
	主管③	点滴	2時間	
7) フルオロウラシル(5-FU)		800 mg/m ²		
生食	1000ml	1 袋		
	主管④	点滴	24時間	
8) マンニトール	300ml	1 V		
	▶側管③	点滴	1時間	主管④と同時に
9) ソルラクト	1L	1 袋		
	▶側管④	点滴	4時間	側管③に続いて

〈所要時間 ー〉

次ページあり

day2、3

1) デキサート	6.6mg	1 V
----------	-------	-----

生食 50ml 1本
▶側管① 点滴 15分 午前中に

2) 硫酸Mg補正液 1A

生食 1000ml 1袋
▶側管② 点滴 4時間

3) フルオロウラシル(5-FU) 800 mg/m²

生食 1000ml 1袋
主管① 点滴 24時間 前日の主管に続いて

〈所要時間 ー〉

day4、5

1) デキサート 6.6mg 1V
生食 50ml 1本
▶側管① 点滴 15分 午前中に

2) フルオロウラシル(5-FU) 800 mg/m²

生食 1000ml 1袋
主管① 点滴 24時間 前日の主管に続いて

〈所要時間 ー〉

day6

1) 生食 50ml 1本
フラッシュ

2) ヘパリンNaロック 10ml 1筒
ルートロック

〈所要時間 ー〉